

2015 年
入試用

学校説明会レポート



城北中学校・高等学校

日時 2014 年 5 月 29 日 (木) 11 時 00 分～12 時 45 分
所在地 板橋区
会場 講堂
対象 塾
出席者数 約 100 名
配付資料 2015 年度学校案内、データブック 2014、入試の情報、掲示用パンフレットなど

説明会の概要

あいさつ

校長 小俣先生 11:00～11:16

- 今年度から新しく校長に着任いたしました。2014 年の入学試験にも多くの受験生に挑戦してもらい、大変喜んでおります。本校の教育理念は、高いレベルの「文武両道」であり、生徒には勉強も部活も学校行事もすべて全力で取り組むように指導しています。それゆえに本校の求める生徒像は「自主自立の出来る生徒」です。自ら考え、行動し、それら全てに全力を注げる人間に育てるため、教員は努力しています。

各教科の出題の基本的な考え方

各担当教諭 11:16～12:17

- 国語：高橋教諭 国語の出題内容は中高ともに大きく 4 つです。①文学的文章②説明的文章③言葉に関する問題（中学）・古文（高校）④漢字問題。
 - ① 文学的文章では状況・表現・心情・人間関係が読み取れているかを見ています。出題頻出されるのは、「ぼく小説」と呼ばれる少年が主人公の物語です。
 - ② 説明的文章では細部にわたる内容・構成を読み取れているかを見ます。比喩的な表現の言い換え問題はよく出ますので語彙力を付けてください。
 - ③ 中学の言葉に関する問題は奇抜な問題は無く、基礎基本の語彙力を問います。高校での古文は基本的な語句は必ず出題されるのでここで点を落とすことのないようにしてほしいです。
 - ④ 漢字問題ではできるだけ小中学生の語彙から大きく離れない内容を出題することに

しています。熟語を構成する一つ一つの漢字の意味にまで意識を持って勉強してほしいです。

減点対象となる解答としては、「主語がない」「文末が不適切」「誤字脱字」「句点の抜け」「送り仮名の間違い」などがあります。また、最近多い解答に「メール言葉」や「話し言葉」を使用しているものが見られます。これも減点の対象です。気をつけてください。

- 算数・数学：田中教諭 算数・数学は解答欄には全て答えのみを記入してください。単位は不問です。分数は仮分数・帯分数どちらで答えてもかまいません。中学では1～3回の大問数は各回ともに5～6題で、小問にして15～17問です。高校では2回入試のほうの問題数が少なくなっています。難易度は変わりません。
- 社会：紫藤教諭 中学入試での出題分野として
 - ① 地理分野 地図・グラフ・表からの出題・計算問題・時事問題を毎年出題しています。
 - ② 歴史分野 全ての年代から出題する予定。最近は現代史が弱い受験生が多く見られるので、しっかり最後まで勉強してきてほしいです。
 - ③ 公民分野 日本国憲法が出題の中心になります。時事問題も出題されるので、ニュースや新聞にも目を通しておいってください。

採点上の注意として漢字で指定されている問題や氏名でひらがなや漢字を使用しても部分点はありません。ア～エで解答するのを1～4で解答している受験生もいましたので、よく問題文を読んで解答してください。

- 理科：加藤教諭 中学入試での出題分野として、化学・物理・生物・地学全ての分野からまんべんなく出題します。問題文に指定がなければ解答にひらがな・カタカナを使用してもかまいません。

第3回入試ではお絵かき問題が出題されます。これは、デッサン力を問う問題ではないので、美しさではなく正確さを見ます。入学後は、理科の授業は実験中心のカリキュラムになっていくので、実験にかかわる問題は必ず出題されます。特に中学では1年間で、各分野約10テーマ程度の実験を行う予定です。理科好きな生徒はぜひ本校を第一志望にしてもらいたいと思います。

- 英語： 高校入試における英語の出題形式は第一回で長文読解（2題）・対話文・正誤問題・整序英作文・和文英訳。第二回で長文読解（3題）・同意文完成問題・部分英作文・和文英訳です。

文法問題については基本問題の正答率は高く、ここを落とすと合否にかかわるのでしっかり勉強してきてほしいです。作文問題では基本的な問題でもミスが目立ちます。たくさん問題に取り組んで作文に慣れてください。第二回での物語文の長文読解の正答率が例年低く、苦手な受験生が多いことがわかります。さまざまな分野の英文を読む習慣をつけてください。

大学入試結果

進路指導部長 井上教諭 12:17~12:32

- 2014 年春卒業生の大学進学結果としては現役志向が非常に強かったことが特徴として挙げられます。国公立を目指すクラスの人数が減少しており、難関国立大を目指して浪人するよりは現役で私立大へ進学することを希望する生徒が非常に増えているというのが実感です。

2014 年春の東京大学合格者は 18 名（うち現役は 10 名）で、前年より 6 名増えました。以下結果は一橋 4 名（現役 0）、東工大 18 名（現役 15 名）、京都大 3 名（現役 2 名）でした。

平成 27 年度入試要項

教頭 中洲教諭 12:32~12:45

- 【変更点】 中学入試→（なし） 高校入試→（なし）
中学：第一回 2/1 120 名・第二回 2/2 130 名・第三回 2/4 30 名
各教科とも出題傾向等に変更はありません。追加合格については公表していませんが第二回で必要に応じて出す場合があります。複数回受験の優遇での合格は例年 7~8 名程度です。
高校：第一回 2/11 60 名・第二回 2/12 30 名
出題傾向に変更はなし。延納制度もあります。補欠は発表時に掲示されます。複数回受験の優遇での合格は例年若干名です。

説明会の雰囲気・印象

- 非常に丁寧な印象を受ける説明会でした。各教科の説明はもちろんのこと、教育理念などをしっかりと伝えたいという意思が感じられる説明会でした。

学校周辺の環境

- 住宅街の中で、都内でありながら、緑に恵まれた環境にあります。非常に静かです。

交通

- 東武東上線 上板橋駅から徒歩 10 分
メトロ有楽町・副都心線 小竹向原駅から徒歩 20 分
JR 新宿・高円寺駅からバス便あり（小茂根バス停下車徒歩 10 分）